教育研究施設 Facilities

学内施設

学術情報基盤図書館 中央館

▶朝倉キャンパス

勉強用なら出力無料

学生の学習を支援するため、学術研究用のプリントアウトは年間上限枚数まで無料です。

メディアの森

外観が特徴的な「メディアの森」。様々な図書や電子ジャーナル、データベースを利用できる図書館としての機能と、高速で安定的なインターネットが利用できるネットワーク機能が備わっています。

- **レファレンスカウンター**　図書館利用を支援するサービスを行っています。図書館資料の利用方法や情報検索指導、資料の所在調査等の相談に応じるほか、高知大学にない本や論文のコピーなどを学外から取寄せることもできます。
- **開架閲覧室**　蔵書は2階から5階まで分野別に並んでいます。
- **雑誌コーナー**　話題の新刊や一般雑誌も豊富です。
- **グループ学習室・個人用キャレル**　1人用学習スペースと、3人から10人で利用できるグループ学習室があります。
- **情報コンセントコーナー**　約20箇所の情報コンセントが設置されています。ノートパソコンを接続して、電子メールやWebブラウジング、ネットワークプリンタへの印刷が可能です。
- **教育端末室**　主に各学部の専門授業で利用されています。授業時間外では、自習使用することが可能です。

学術情報基盤図書館 医学部分館

▶岡豊キャンパス

時計台が目印になる岡豊キャンパスの図書館です。

学習量の多い医学部生のために、閉館時も許可制のカードキーを使用すれば、入退館を可能としています。

また県内の医療関係者を支援し、地域貢献の役割も担っています。

- **開架閲覧室**
- **情報検索コーナー**
- **グループ学習室・個室**
- **雑誌室**

専門図書閲覧室

学術情報基盤図書館 物部分館

▶物部キャンパス

物部の自然の中にあるアットホームな雰囲気の図書館です。

物部キャンパスに通う学生のみならず、共同研究ならびに近隣の研究者もよく利用する地域に開かれた図書館です。

- **南・北閲覧室**
- **情報コンセントブラウズ室**
- **雑誌コーナー**
- **グループ学習室**
- **多目的室**

南閲覧室

自律学習支援センター（OASIS） Open-Access Center for Self-regulated Independent Study ▶朝倉キャンパス

自習コーナー

マルチメディア教室

主に語学についての教材貸出しや自学自習を目的としたスペースで、人文社会科学部管理棟1階にあります。英語をはじめ様々な外国語学習や留学生との交換レッスンなど、自律的な学習を支援しています。

●自習コーナー
メディアの森と並んで利用度の高い学習スペースです。センター内は無線LANが整備されており、学生のPC持ち込み利用はもちろん、備え付けのデスクトップPCや館内貸出し用のノート型PCの利用も可能となっています。映画のDVDやDVDプレーヤーも多数あり、常時視聴が可能です。

●マルチメディア教室
定員20名のグループ学習室には各種視聴覚機器やプロジェクターなどが設置されており、TOEIC試験講座やグループ学習、授業などにも利用されています。

●個別学習室
●ペア学習コーナー
パートナーシッププログラム（留学生との交換レッスン）や少人数での学習で利用できます。

語学教材は10,000点以上！
IELTS、TOEIC、英検などの各種検定試験対策問題集や、英語・中国語・ドイツ語・フランス語・韓国語・日本語や日本語教育関連の教材、月刊誌などがそろっています。

保健管理センター

▶朝倉キャンパス ▶岡豊キャンパス ▶物部キャンパス

朝倉キャンパス 保健管理センター

学生や教職員が健康で安全な大学生活を送れるようサポートしているのが保健管理センターです。何かの時にはすぐに対応できるよう内科の医師と看護師が常駐し※、婦人科の専門医も定期的に診察を行っています。二次対応が必要な場合は、症状に合わせて医学部附属病院や近隣の病院を紹介します。

また近年は身体の健康だけでなく心の健康――メンタルヘルスにも力を注いでおり、精神科の専門医や臨床心理士が、学生や教職員の心の不調や悩みの相談にのれる体制を整えています。

さらに、より積極的に学生の健康増進や病気の予防に関わろうと、食生活や生活習慣も含めたトータルな視点で学生をサポートしているのも大きな特徴です。※物部キャンパスは看護師のみ常駐

定期的な取組

- 健康診断：全学生対象
- 特殊健診：実験で特殊な薬品や放射性物質を使う学生対象
- 心電図検査：
  インカレ出場者やスポーツを専攻する学生対象
- 骨密度検査
- 感染症対策、予防接種のチェック
- メンタルヘルスに関するアンケート調査：新入生が対象
- メンタルヘルス講演会

イベントなど

お料理教室、ヨガ教室、アルコールパッチテストなど

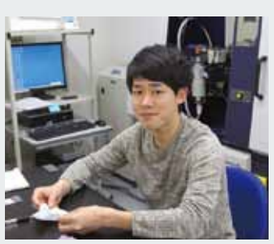
理学部附属水熱化学実験所

▶朝倉キャンパス

100℃、1気圧よりも高温、高圧の水が関与する水熱反応を専門に研究を行う世界でも希な施設です。この水熱反応を利用して、機能性セラミックス材料や高活性触媒の合成、セルロースなどからの高付加価値有機物への変換、有害物質や産業廃棄物の処理・処分に関する研究を行っています。卒業論文、修士論文、博士論文を作成するための学生や国内外の共同研究者に、実験の場を提供しています。

Voice 学生の声 田北直也 理学部応用理学科応用化学コース3年生（大分県立大分高校出身）

私は、熱電材料について研究しています。熱電材料とは、熱を電気エネルギーに直接変換できる材料のことで、例えば自動車から発生し使われずに捨てられてしまっている熱（廃熱）から発電できるため、新たなクリーンな発電技術として期待されています。これまでに実用化された熱電材料は、毒性があり、資源的にも問題がありました。そこで私は、無毒性で豊富な元素からなる環境に優しい新たな熱電材料と注目されているカルコパイライトという化合物を、水熱反応を用いて合成することにより、熱電材料としての特性を向上させるために研究を行っています。



水熱反応の準備、生成物の分離、洗浄などの作業を行います。

理学部附属高知地震観測所

▶朝倉キャンパス

地震観測や測地計測に基づいて地震の発生、地球内部構造、地殻変動等の研究を行っています。四国内8ヶ所に定常地震観測点を展開するとともに、気象庁や他大学、他機関の地震波形記録もリアルタイムで収録しています。併せて、高知県内の地震災害に関する資料の収集、場所と期間を限定した機動観測を随時実施しています。学生の実験実習や四国内の地震観測研究の拠点として使用されます。

海洋生物研究教育施設

▶高知県土佐市宇佐

当施設は、黒潮分岐流・仁淀川河口汽水域・リアス式内湾およびサンゴ群落の多様な環境に囲まれ、海洋生物学および水産科学に関する広い分野の研究を行っています。研究・実習用設備、海洋観測機器類（水温・塩分・濁度・溶存酸素・クロロフィル、流向・流速）および海洋調査実習船「豊旗丸」（19t）、「ねぷちゅーん」（5t）、「はまゆう」（2t）および船外機船を所有し、フィールド調査、飼育実験および臨海実習の基地として、学内だけでなく学外さらには海外からの研究者も利用しています。

Voice 学生の声 東島昌太郎 総合人間自然科学研究科 修士課程農学専攻2年（静岡県立韮山高校出身）

海洋生物研究教育施設がある宇佐は、田舎ですが、土佐節発祥の地で、ジョン万次郎が出港したことで有名な高知屈指の漁港です。施設は多様な環境に囲まれており、実習船豊旗丸をはじめとする調査機材や設備も充実し、先生方も自ら乗船して、私たちの世界に向けた研究を後押ししてくれます。私は魚類の初期生活史について研究していますが、海に出て塩分、水温等を調べ、網を曳くことで、自然を科学的に研究することの難しさや面白さを日々、学んでいます。海洋生物に興味がある、海に関する研究がしたい方に是非お勧めの場所です。

研究試料となる海洋生物の幼魚を飼育している水槽

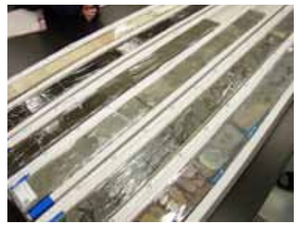
海洋コア総合研究センター

▶物部キャンパス

海洋コア総合研究センターは、海洋コアの総合的な解析を通して地球環境変動要因の解明や海洋底資源の基礎研究を行うことを目的とし、全国共同利用施設として設立されました。2004年から海洋研究開発機構（JAMSTEC）と共同運用を行っています。本センターは、海洋コアの冷蔵・冷凍保管をはじめとし、コア試料を用いた基礎解析から応用研究までを一貫して行うことが可能な研究設備を備える、国内唯一の研究機関です。2007年からは、国際共同研究プロジェクトである統合国際深海掘削計画［2013年10月～国際深海科学掘削計画］（IODP）における世界3大拠点のひとつとして、本格的な活動を開始しました。2009年6月に文部科学大臣から「地球掘削科学共同利用・共同研究拠点」に認定され、2016年1月には、第2期（平成28年度～平成33年度）の拠点認定を受け、引き続き地球掘削科学の発展を望む研究者コミュニティの要望に応えるべく、本センターの卓越した設備・機能を活用した共同利用・共同研究の推進を図ることとしています。

Voice 学生の声 武田大海 総合人間自然科学研究科 修士課程理学専攻地球科学分野1年（高知県 私立高知学芸高校出身）

共通教育の講義で古地磁気を習い、面白そうだったからと研究対象にすると海洋コア総合研究センターで研究することになりました。たまたまやって来たここは世界でも有数の研究施設。目の前にあるたくさんの貴重な海洋コア試料と様々な最先端の分析機器の数々。そんな環境をどれだけ活かすことができるかは自分次第。想像力とやる気さえあればどんな研究も思うがまま。そして周りにいるのはプロの研究者。プロの持つ空気を肌に感じ、研究に対する姿勢を見習いながら、他ではできない研究をする数年間は貴重な経験になっています。


海洋コア試料。海水面変動、地磁気の変化、海流系の変動、水温変化といった過去の地球環境変動が記録されています。

総合研究センター

総合研究センターは、海洋部門、生命・機能物質部門からなり、①海洋に関わる研究の遂行とその支援、教育および地域貢献、②生命・機能物質部門に関わる研究の遂行とその支援、教育および地域連携の2つの機能を担っています。

■ 海洋部門：海洋生物研究教育施設（66ページ参照）
■ 生命・機能物質部門：
遺伝子実験施設、実験実習機器施設、RI実験施設、動物実験施設

遺伝子実験施設 ▶物部キャンパス

遺伝子に関する基礎的・応用的研究の助長・促進と、遺伝子実験技術の教育・訓練を行うことを目的とした施設です。高知大学のみならず、四国地域における遺伝子関連の実践的研究推進のための施設として重要な役割を果たしています。

実験実習機器施設 ▶岡豊キャンパス

形態系、生化学系、免疫系、生理系の各系に、それぞれの研究分野に必要な大型機器が完備されています。機器使用方法や使用上のルールを説明できる技術専門職員を配置し、施設機器の性能を最大限活かすことのできる体制を整えています。

動物実験施設 ▶岡豊キャンパス

生命科学分野の教育・研究の推進は、実験動物の尊い命の犠牲の上に成り立っています。このことを踏まえ、実験動物に関する基礎知識、人獣共通感染症、動物福祉と生命倫理を中心に教育を行い、今世紀の生命科学分野を担う人材の育成に貢献しています。

▶ 組織図

- 学部
  - 人文社会科学部 ― 人文社会科学科
    - 人文科学コース
    - 国際社会コース
    - 社会科学コース
  - 教育学部 ― 学校教育教員養成課程
    - 幼児教育コース
    - 教育科学コース
    - 教科教育コース
    - 科学技術教育コース
    - 特別支援教育コース
  - 附属施設　附属教育実践総合センター、附属幼稚園、附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校
  - 理学部
    - 理学科
    - 応用理学科
    - ※平成29年度理工学部（仮称）に改組予定
  - 附属施設　附属高知地震観測所、附属水熱化学実験所
  - 医学部
    - 医学科
    - 看護学科
  - 附属施設　附属病院、附属医学情報センター、附属システム糖鎖生物学教育研究センター、附属先端医療学推進センター
  - 農林海洋科学部
    - 農林資源環境科学科
      - 暖地農学領域
      - 自然環境学領域
      - 森林科学領域
      - 生産環境管理学領域
    - 農芸化学科
    - 海洋資源科学科
      - 海洋生物生産学コース
      - 海底資源環境学コース
      - 海洋生命科学コース
  - 附属施設　附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター
  - 地域協働学部 － 地域協働学科
  - 土佐さきがけプログラム
    - グリーンサイエンス人材育成コース
    - 国際人材育成コース
    - 生命・環境人材育成コース
    - スポーツ人材育成コース

- 大学院
  - 総合人間自然科学研究科
    - （修士課程）
      - 人文社会科学専攻
      - 教育学専攻
      - 理学専攻
      - 医科学専攻
      - 看護学専攻
      - 農学専攻
    - （博士課程）
      - 応用自然科学専攻
      - 医学専攻
      - 黒潮圏総合科学専攻
  - 愛媛大学大学院連合農学研究科（博士課程後期3年）
    - 生物資源生産学専攻
    - 生物資源利用学専攻
    - 生物環境保全学専攻

- センター
  - 海洋コア総合研究センター
  - 大学教育創造センター
  - アドミッションセンター
  - 学生総合支援センター
  - 教師教育センター
  - 総合研究センター
  - 地域連携推進センター
  - 国際連携推進センター
  - 防災推進センター
  - 学術情報基盤図書館
  - 保健管理センター

※平成28年5月1日現在